

交通流数理研究会の誕生とその歩み

福井 稔

- 交通流研究ことはじめ (1993)
セルオートマトンモデル、最適速度追従モデル

- 交通流シンポジウム (1994)
いろいろな分野・学会の研究者の発表の場、交流の場
交通流研究のアプローチ：工学系－数理系、構造的渋滞－自然渋滞
いろいろな流れと交通流

- 交通流数理研究会の発足
国立情報学研究所 学協会情報発信サービス、研究助成
運営：オープン、江戸っ子、ボランティア

- 流れと渋滞の研究
多体粒子集団、自己駆動粒子
離散数理、流れのひろがり
交通流の基礎理論－OV モデル
学問的市民権－渋滞学 / 爆問学問 講談社科学出版賞

- 渋滞研究と研究会のこれから